

コード	204010108
記入日	H25.6.5

課コード	114
課名	水道課
課長名	築地 政次
担当者	西村 正則

# 事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	新魚目南部地区簡易水道改良事業
----------	-----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	1
施策コード	204	施策名称	暮らしを支える水道の整備	項コード	3
基本事業コード	20401	基本事業名称	安全で良質な水の安定供給の推進	目コード	1
事務事業コード	2040101	事務事業名称	簡易水道特別会計事業費	細目コード	特別会計
関連計画	法令・条例規則等				

## 計画 ( PLAN )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 水道使用者 [新魚目南部地区]		(対象指標1)	3,612人			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・全体計画 →水源循環・取水装置設置工 1.0式 →導水管布設工 4,442.6m →導水ポンプ設備工 1.0台 →調整池及び配水池築造工 1.0式 →導水ポンプ井築造工 1.0式 →緩速ろ過池付属配管替工 1.0式 →滅菌設備工 1.0式 →送・配水管布設工 L = 23,393m →電気計装設備工 1.0式	・平成24年度実績 →送水管布設工 φ50 L = 383.6m →上小串高部付属配管替工 1.0式 →上小串減圧井付属配管替工 1.0式 →配水管布設替工 φ25~φ100 L = 2,401.1m →電気計装設備工 1.0式	事業進捗率	100%	100%	実績工事進捗率÷	平成24年度
		事業進捗率	18.0%	100%	計画工事進捗率	平成24年度
		(達成率分析)	当初計画どおり上小串・大浦地区の送水管・配水管・付属施設の改良工事を行った。			
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
・新魚目南部地区の老朽化した浄水施設を休止して浄水場を2系列とし、大幅な経費の節減と管理の軽減を図る。老朽設備及び老朽管を改良し有収率向上と更なる安定給水を図る。また、水源についても水質改善を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		有収率	87.52%	97.2%	有収率実績÷	平成24年度
		有収率	87.52%	97.2%	目標有収率	平成24年度
		(達成率分析)	送水管・配水管を布設替により安定した水の供給が図られた。			
		(達成率分析)	有収率の向上と水の安定供給 - - - 平成25年度以降			
		(達成率分析)	老朽化した施設等の休止・更新により、有収率の向上と更なる水の安定供給を図ることができる。			

## 実施 ( DO )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 20 ~ H 24		23年度以前	24年度		
		計画	実績	実績	計画	実績	
活動指標	① %	100	100	82.0	18.7	18.0	
	②						
成果指標	① %	90.0	87.52	86.91	90.0	87.52	
	②						
総事業費 C (A+B)	千円	858,764	844,164	691,944	166,820	152,220	
直接事業費 A	千円	834,264	826,664	677,944	156,320	148,720	
人件費 B	千円	24,500	17,500	14,000	10,500	3,500	
内訳	従事職員数	人	3.5	2.5	2.0	1.5	0.5
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
	国補助金	千円	400,000	400,000	330,000	70,000	70,000
	県補助金	千円					
	起債	千円	414,600	414,600	335,900	78,700	78,700
財源内訳	その他	千円					
	一般財源	千円	44,164	29,564	26,044	18,120	3,520

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	水道水の安定供給は不変的なものであり、当然行うべきものである。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	老朽施設の更新により改良区間の有収率向上が図られ、一層の安定供給が確保された。
	有 効 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	随時事業内容の見直しを行い実施した。

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	現場条件に合わせ、最小の経費となるような計画にすることに努める。	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	目的は達成された。	
2 次 評 価	老朽化した施設等の休止や効率化を行うことにより大幅な経費節減と維持管理の軽減を図ることができる。今後も効率的な施設整備、維持管理を行い、安全で良質な水の更なる安定供給に努めること。	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。